

「住まいの温熱環境測定の体験学習プログラム」の実施について

建築住宅課

岩手県では、「住教育」の一環として、岩手の住まいに欠かせない断熱を取り上げて、身の回りの温熱環境や熱の移動を可視化する授業を通して、岩手の気候に合わせた「住まい」や「住まい方」の理解を深める体験学習を実施しました。

1 「住教育」の必要性

岩手県では、岩手の地域性を反映した「岩手型住宅」の普及を重要な施策と位置付け、「岩手にふさわしい断熱性能の高い住まい」の実現に向けた施策を進めています。

「断熱性能の高い住まい」の普及には、県民の皆様の理解が欠かせませんが、断熱性能等の効果効能は伝わりにくいことが課題と感じています。

そのため、「将来の住まい手・作り手」となる子どもたちへの早期からの住教育の展開が重要であると考えており、この「住教育」の一環として、岩手県立大学との協働研究により「住まいの温熱環境測定の体験学習プログラム」を実施しています。

風土と調和した健やかな暮らし

岩手型住宅

IWATE STYLE HOUSING



県HP

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/kenchiku/kojin/iwatega/ta/index.html>

2 「体験学習プログラム」の実施概要

- (1) テーマ **岩手での冬の暮らしについて住まいの視点で考えてみよう**
- (2) 実施日 令和8年2月9日
- (3) 実施場所 釜石市内の中学校
- (4) 授業対象 中学2年生
- (5) 主な授業内容
 - ① 導入（気象条件の比較から釜石の特徴を理解する）
 - ② 岩手型住宅とは？（岩手の住まいで目指すことを解説）
 - ③ グループワークその1「校舎内の温度を考察してみよう」
 - ・ 事前に測定した温度データを読み取って、熱環境への理解を深める
 - ④ グループワークその2「断熱とは？」
 - ・ 断熱と熱移動の原理を解説
 - ・ ガラスコップと断熱コップを使って、熱移動の差について簡易実験
 - ⑤ まとめ（断熱の効果をみんなで確認）

